

長洲小強歩会SP②

令和5年3月13日(月)

今回保護者の皆様を中心にお送り致します。どうぞよろしくお願いいたします。

5年 Eさん

まず、4・2・1の5kmを聞いて「大丈夫か?」というのが感想でした。子供達が参加したと言っているのを聞いて「何となく分かってない、ナメクジ」という気持ちでした。でも色々な経験をしてみたいという気持ちがありましたので、参加には肯定的な気持ちにはなっていました。先歩で走っても、失敗という経験ができてよかったという気持ちです。

当初、午朝の時には自分で起きて準備していました。やる気もありました。参加前は自分で起きなさいと(…)歩き出した10km、20km進み、30km過ぎたから状況が変わりました。子供も大人も、足も腰も痛く、体力も少ない中、最後まで歩くと決めたことには本当に達成感があり、自信や感動を得ることができた経験でした。簡単に「ゴールする」とはできないけれど、みんなの協力、サポートのおかげで目標が達成できる。それには、すべて最後の10kmに頑張っていました。筋肉痛の娘に「来年も参加したい」と尋ねたら、「いいー」と一言、準備等大変だと思いますが、来年もよろしくお願ひ致します。PTAの皆様、先生方スタッフの皆様、本当にありがとうございます。

4・5年 Mさん

コースで参加しましたが、全員でゴールできたことが嬉しく、何より子供達の強さ、逞しさ、優いさを感じた1日でした。上級生は下級生を気に掛けるから歩き、時には離れてしまったり声をかけ、頼もしいなと思います。また、足に痛みが出てきて辛い子を持つ子も、手を引くなど、励ましてくれたり強くて歩く姿を見て、こんなにも強かったんだと感動しました。

そして、軽い気持ちで参加した5歳の我が子が、1度もおんぶや抱っこをすることなく歩き通したことに、子供って大人が思っているより凄い!!とびっくりでした。(途中、何度が涙が出て抱っこをせがむ子を決して抱っこしない鬼母で思ったのですが、最後まで頑張らせて良かったです。ゴール後は親が一番ハテして、子供の体力はじつとなつて来たんだと本当にびっくりしました。今回最後までの切ったことには、自信にもなりましたと思います。私も普段話したことのない親御さんと交流できて楽しかったです。強歩会を企画して頂きたいので、ありがとうございます。

5年 Kさん

今回、救護者として参加させて頂きました。途中何度も「大丈夫か?」と声をかけようになりましたが、その都度校長先生の言葉を思い出して我慢していました。しかし、はじめは我慢だったはずの「大丈夫?」が距離が進む学校が近くなるにつれて、何となく最後まで歩き通してほしく心がかるようになったので、自然と「頑張っているか?」とか「いけるか?」とこの声掛けに変わってしまいました。周囲の大人の声掛け「頑張れよ!」は、もう4000歩ぐらいのところで「頑張れよ!」と聞いて感動しました。そして、5年生はほぼ全員最後まで笑顔で歩き、途中まで走っていた子も途中でいい笑顔で「ゴールする」と言っていました。子供達から感じる達成感や笑顔、本当に感動しました。私も含め、子供達にとって本当に良い体験になったと思います。ありがとうございます。

4年 Fさん
強歩会に参加して、本当に良かったです。授業参観では分からなかった娘の友達への接し方を見ていて良かったです。娘の新たな一面を見て、改めて成長を感じました。この世な素晴らしい行事、来年も多くの人が参加してくれる良いなあと思います。運営の方々、一日中お道場で声援をくれた先生、本当にありがとうございました。皆様のおかげで無事4・2・1の5kmを歩きました。

4年 Gさん

初めての校長先生からお話を聞きた時は、是非とも娘と一緒に参加したいと思いました。理由としては、私事ではありますが、お話しします。仕事で帰宅時間が遅く、子供達とママのコミュニケーションをとる時間が作れず、もともとできていた。強歩会に向け練習をとも考えましたが、長女は部活、次女は体力の無さが影響し、なかなか練習できないまま本番を迎えました。次女は玉子に入った頃から足が痛い泣き出し、いつもの甘えが止まりました。最初は私も優しく、旦那本人のモチベーションを上げるように励ましましたが、「帰りたい。参加するって言わなきゃよかった。」と泣きました。私としては、何とかみななを力をお任せ「ゴールする」と、頑張った先の達成感を味わってほしい、軽く突き放してしまいましたが、さすが、クノスマイトの女の子が、次女の手をしっかりと握り、歩き始めてくれました。もう一人の女の子も「一緒に頑張ろう!」と励ましてくれて、3人でおしゃべりしながら進みました。しかしそれと比べると、折り返し地獄のセブンイレブンに到着する間際でまたペースが落ち、到着するまで泣き止んだ。長女に対して甘える仕草が見て取れました。幼い頃から次女は長女に対する依存心が強いので、どうしても降りて欲しかったので二人を離し、後半をスタートさせました。

途中の気持ちの上がり下がりがあり、サポートの校長先生の教えや声かけにはおんぶまでして頂きました。お陰様でリタイアするのを「ゴールする」と言ってくれました。ゴール後「次女が」諦めなくてよかった!」と言ってくれたことにとても感動し、二人で抱き合っていました。長女からも「二人がゴールしてよかった!」と言ってもらい、帰りの道「これからもうフォロワーを続けたいね」と約束しました。今回、娘との絆を作る機会を与えて頂き、大変感謝しています。くじけそうになりましたが、参加して本当に良かったです。来年も是非とも参加したいと思ひました。澤田校長先生はじめ、サポートスタッフの皆様、大変お世話になりました。

お母さん 数々子達

毎年参加しています。私も子供がいますが、時期がきたら参加させようと思っています。親になって強歩会に参加すると、感じ方が変わってきます。今年もゴールシーンは感動しました。あの感動を我が子にもさせたいと思っています。来年も参加させていただきます。先生が歩く間は私も強歩会です。来年もがんばります。

